

令和7年度 特例の教育課程の実施状況報告

1. 学校・市町村概要

名護市立屋我地小学校(小中一貫教育校屋我地ひるぎ学園)

・教育目標: 自ら学び つながり 未来を拓く 屋我地っ子(主体的・対話的に課題を解決する力の育成)

・所在地 ●沖縄県名護市字饒平名159番地

・児童数

学年	小学校								中学校					小中計
	1	2	3	4	5	6	特別支援学級	計	7	8	9	特別支援学級	計	
児童生徒	13	14	14	20	19	15	12	107						
学級数	1	1	1	1	1	1	4	10						

○名護市概要【人口】64,548人【学校数】小学校11校、中学校6校、小中一貫校2校

2. 教育課程特例の取り組み・概要

ねらい

- 歌や遊びなどの活動を通して、英語特有の発音やリズムに慣れる。
- 間違いをおそれず、英語発音をまねして、進んで発話する。
- 小中一貫、9年間の英語教育に系統性をもたせる。自国や他国の言語や文化について理解を深める。

3. 取組の工夫:教科等の系統性・連続性を踏まえた学習指導【系統図や指導計画の作成・活用】

○各ブロック(前期・中期・後期)ごとに、到達目標を立て年間指導計画を作成し指導にあたった。

○小学校1年生から英語に親しませ、言語や異文化に対する理解を深めた。また、英語で表現できる実践的な能力を養い、積極的なコミュニケーション能力の育成に努めた。

○ALT・JTE、中学校教員と連携した授業づくりに努め、異文化交流に取り組んだ。

○異学年での交流・学習を工夫し、英語を他者とのコミュニケーションに役立てようとする心情を育てた。

4. これまでの成果と課題、今後の取り組み

○毎週金曜日に「English Day」を設定し、校内放送やあいさつ、朝の会や帰りの会等、一日の生活の中でおおいに英語を使うことができた。

○「ハーベストフェスティバル」(外国語活動)では、1年から9年の縦割り班に分かれ8年・9年がリーダーとなり、外国語のクイズやゲームをして楽しんだ。

○英語教育を充実させることで、他の外国語や異国への興味・関心・理解にも繋がった。

○今後の学習において、児童生徒が更にコミュニケーション能力を高めていけるように授業改善に努める。